

平成 16 年 12 月 28 日

各 位

会 社 名 **ミサワホームホールディングス株式会社**
代表者名 代 表 取 締 役 水 谷 和 生
(コード番号 1722 東証・大証・名証第1部)
問合せ先 常 務 執 行 役 員 酒 井 征 二
経 営 戦 略 部 長
(TEL . 03-3345-1111)

当社子会社（ミサワホーム九州株式会社）に関するお知らせ

当社子会社であるミサワホーム九州株式会社が下記事項について公表いたしましたのでお知らせいたします。

1. 株式会社産業再生機構による支援決定について
2. 厚生年金基金解散に関するお知らせ
3. 通期業績予想の修正に関するお知らせ

以 上

平成16年12月28日

各 位

会 社 名 ミサワホーム九州株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 田代久幸
(コード番号 1747 福証)
問 合 せ 先 取締役総務経理担当 今村一夫
(TEL.092-431-3390)

株式会社 産業再生機構による支援決定について

当社は、本日開催の取締役会で、「事業再生計画」を承認の上、当社及び当社の所属するミサワホームグループの中核会社であるミサワホームホールディングス株式会社（代表取締役：水谷 和生）ほか関係会社29社と、株式会社ユーエフジェイ銀行（頭取：沖原 隆宗）の連名で、本日、株式会社産業再生機構（代表取締役：斉藤 惇、以下「産業再生機構」）に支援の申し込みを行い、支援決定の通知を受けましたのでお知らせいたします。

この度の産業再生機構への支援申込につきましては、財務体質を飛躍的に改善し、早期の再生を確実なものとするためにミサワホームグループ一体として行うものであります。「事業再生計画」は本業であるコア事業（住宅及び住宅関連事業）に完全に集中するものであり、当社をはじめとした販売会社の営業支援体制の強化を柱にしたものです。

また、当社においては株主の皆様へ減資、取引金融機関様へ債権放棄をお願いする予定はございません。

今後は、ミサワホームグループ一丸となって「事業再生計画」の確実な達成に向けて努力してまいります。その中で当社も中核である住宅事業の一社として計画達成に向けて全社をあげて推進してまいりますので、ご高配、ご支援を賜りますようお願いいたします。

記

・業績に与える影響

当社は、事業計画の見直しを実施したことにより、平成17年3月期（平成16年4月1日から平成17年3月31日）の連結決算、単独決算の業績予想につきましては、大幅な下方修正になります。本日適時開示いたします「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上

平成16年12月28日

各 位

会 社 名 ミサワホーム九州株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 田代久幸
(コード番号 1747 福証)
問 合 せ 先 取締役総務経理担当 今村一夫
(TEL.092-431-3390)

厚生年金基金解散に関するお知らせ

当社及び当社グループ会社が加入するミサワホーム厚生年金基金は、平成16年12月21日に厚生労働大臣より解散が認可され、同日付で解散いたしましたのでお知らせいたします。

これにより、平成17年3月期に厚生年金基金解散に伴う特別利益として連結約1,000百万円、単独約1,000百万円を計上する見込みであります。

なお、平成17年3月期の連結決算、単独決算の業績予想につきましては、本日適時開示いたします「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上

平成16年12月28日

各位

会社名 ミサワホーム九州株式会社
代表者名 代表取締役 田代久幸
(コード番号 1747 福証)
問合せ先 取締役総務経理担当 今村一夫
(TEL.092-431-3390)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

本日、平成16年11月18日の中間決算発表時に公表いたしました平成17年3月期（平成16年4月1日～平成17年3月31日）の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	23,100	200	30
今回発表予想(B)	21,110	190	226
増減額(B)(A)	1,990	390	256
増減率(%)	8.6%	-	-
(ご参考)前期実績(平成16年3月期)	22,916	80	55

(2) 単独

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	20,800	165	5
今回発表予想(B)	18,810	225	251
増減額(B)(A)	1,990	390	256
増減率(%)	9.6%	-	-
(ご参考)前期実績(平成16年3月期)	21,989	73	60

2. 修正の理由

近年、当社におきましては、人員の減少や経費の削減等により受注が減少傾向にあり、結果、期末に完工が集中しておりましたが、これを抜本的に見直し、着・完工の平準化による継続的な成長を目指すことといたしました。

これにより、平成16年度下期の完工棟数計画を見直した結果、売上高及び経常利益を修正いたしました。

また、グループ全体の財務体質改善における一連の措置により、販売用不動産の販売価格の見直し及び固定資産の減損会計導入を見据えた処理などにより、連結13億円、単独13億円の特別損失を計上いたします。

なお、ミサワホーム厚生年金基金の解散が認可されたことに伴い、退職給付引当金戻入益を特別利益に連結10億円、単独10億円、計上いたします。

以上